

WEB SPIRAL 運用コマンド

(文書番号 NDWS-0003-03)

概要.....	3
コマンドリファレンス一覧	3
コマンドリファレンス詳細	4
● fl4clean	4
● fl4clean_basket.....	5

概要

WEB SPIRAL では利用している DB のメンテナンスを行うために、以下の機能をコマンドとして提供します。

メンテナンス

- データのクリア
- リポジトリデータのメンテナンス
- 公開・公開終了バスケットデータのメンテナンス

コマンドリファレンス一覧

コマンド型

- `fl4clean` - データのクリア・リポジトリデータのメンテナンス
- `fl4clean_basket` - 公開・公開終了バスケットデータのメンテナンス

コマンドリファレンス詳細

- **fl4clean**

データのクリア

```
$fl4clean --all
```

このコマンドの実行により、下記のデータのクリアが行われます。

- 1) ファイルリポジトリ
- 2) 公開バスケット
- 3) 公開終了バスケット

担当チーム・サーバー設定・プレビュー設定などは削除されません。

リポジトリデータのメンテナンス

```
$fl4clean --days=<保有日数> [ --gen=<世代数> ]
```

指定したデータの保有期間を指定し、データをクリアします。

また、世代指定をすることでデータ保有期間を過ぎていてもデータを削除しないことも可能です。たとえば、1年前のデータは削除したい場合などにこのコマンドを使います。

- **--days=<保有日数>**
数値にて保有日数を指定してください。
- **--gen=<世代数>**
数値にて世代数を指定してください。

```
$fl4clean --gen=<世代数>
```

指定した世代分だけ履歴を保有しデータをクリアします。

たとえば、最新のバージョン3つのみを保有するなどといった場合にこのコマンドを使います。

- **--gen=<世代数>**
数値にて世代数を指定してください。

【注意】

いずれのリポジトリメンテナンスでも最新のファイルについては削除することは出来ません。

- **f14clean basket**

```
$f14clean_basket --days=<保有日数> [OPTIONS]
```

- --days=<保有日数>
数値にて保有日数を指定してください。

[OPTIONS]

- --without-history
ファイルデータのみを削除し、バスケット履歴は削除しない。
- --with-failure
正常に完了していないバスケットも削除する。